

認知症介護家族による介護なんでも電話相談
平成 28 年度実績(4 月～12 月)

1 相談日数および件数

表1

月	相談日数	相談件数
4月	4日	11件
5月	4日	14件
6月	5日	11件
7月	4日	8件
8月	5日	14件
9月	4日	15件
10月	4日	11件
11月	5日	16件
12月	4日	11件
合計	39日	111件

相談日および時間は、毎週水曜日午前10時から午後3時である。

平成28年度は、12月までに39日実施し、111件の相談があった。(表1)

相談内容の状況として、病状、症状への対応や、進行への不安が多いが、介護の疲れ、不満、介護者の人間関係(兄弟姉妹・母と娘・近隣)や介護者としての対応の仕方の相談が増えている。相談をする、心の中のを吐き出す相手のいない方、気持ちに寄り添ってくれる人を求めている方が多い傾向である。

要介護者本人からの相談もあり、孤立や症状への不安を訴えている。

2 相談内容(表2、図1)

表2

対応	件数	割合 (n=111)
傾聴	84件	75.7%
介護家族の会紹介	6件	5.4%
高齢者相談センター紹介	27件	24.3%
情報提供	21件	18.9%
その他	8件	7.2%

相談内容は、主訴として記録しているが、相談者の抱える問題が複雑であったり、心の整理を求めている場合が多い。

相談結果としての対応から、見られる傾向は左記のとおりである。

最も多かったのは、「傾聴」の84件(75.7%)であった。これに対応する主訴としては、「病状、症状への不安、対応」「介護の疲れ、不満」「介護をめぐる人間関係」といった内容であった。

次に多かったのは「高齢者センター紹介」の27件(24.3%)および情報提供(18.9%)であった。これに対応する主訴としては、「介護保険や福祉サー

ビスの利用について「医療機関の紹介」といった具体的解決を必要とするものが見られた。

「介護家族の会紹介」は、6件(5.4%)であったが、この対応は、「傾聴」を伴うような相談者の心理的主訴に対して行われていた。

図1

